

15. アンケート単純集計表

<学長用>2010/03/17 現在

基礎集計表

国立大学法人の
組織・運営の実態等に関する
全国調査

2008年12月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、学長（総長）を対象としたものです。学長（総長）の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接ご記入下さい。
4. 記入の済んだ調査票は、同封の返信用封筒をご使用の上、2009年2月2日（月）までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250

E-メール：maruyama@zam.go.jp

1 大学の組織管理について

問1 役員会

(1) 中期計画・年度計画、予算配分等の経営上の重要事項を決定する際には、役員会の議を経ることになっています。貴大学の役員会のこれらの事項について実質的な審議を行う場として機能していると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

| | | | |
|---------------|----------------|----------------|-----------------|
| 十分に機能 している | ある程度機能 している | あまり機能 していない | ほとんど機能 していない |
| 77.9 ----- | 20.9 ----- | 1.2 ----- | 0.0 ----- |

(2) 貴大学では、上記の役員会の機能を充実・強化するための組織（たとえば拡大役員会、戦略会議など）を設置していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

1. している 88.4 2. していない 11.6 3. 廃止した 0.0

(3) **1**と回答した大学にうかがいます。当該組織の名称と設置の理由をお答えください（複数の組織を置いている場合は、それぞれについてお答えください）。

| | |
|------|--|
| 組織名称 | |
| 設置理由 | |

(4) 上記(2)で**3**と回答した大学にうかがいます。廃止した理由をお答えください。

問2 経営協議会

(1) 経営協議会は大学経営に関する重要事項や学則、役員報酬等に関する事項を審議する場とされています。貴大学の経営協議会は、これらの事項について実質的な審議を行う場として機能していると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

| | | | |
|---------------|----------------|----------------|-----------------|
| 十分に機能 している | ある程度機能 している | あまり機能 していない | ほとんど機能 していない |
| 57.0 ----- | 38.4 ----- | 4.7 ----- | 0.0 ----- |

問3 教育研究評議会

(1) 教育研究評議会は、教育研究に関わる重要事項や教員人事に関する事項等を審議する場とされています。貴大学の教育研究評議会は、これらの事項について実質的な審議を行う場として機能していると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

| | | | |
|-----------|------------|------------|-------------|
| 十分に機能している | ある程度機能している | あまり機能していない | ほとんど機能していない |
| 67.4 | 29.1 | 3.5 | 0.0 |

問4 部局長会議

(1) 貴大学は、法人化前の部局長会議に相当する組織を設置していますか。あてはまる番号に○をつけてください。設置している場合は組織名もあわせてお答えください。(n=85)

1. 設置している 74.1
→ 組織名称 ()
2. 設置していない 25.9

(2) 上記の組織を設置している（または設置していない）理由をお答えください。

| |
|--|
| |
|--|

(3) 法人化後に設置したが、現在までに廃止した上記の組織があれば、その名称、任務、廃止した理由をお答え下さい。

| | |
|--------|--|
| 名称 | |
| 任務 | |
| 廃止した理由 | |

問5 学長補佐

(1) 貴大学では、学長や役員を補佐するための役職を設けていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

1. 設けていない 7.0 2. 設けている 90.7 (名(うち学外者 名))
3. 廃止した 2.3

(2) **2**と回答した大学にうかがいます。その役職名と当該職を設けた理由をお答えください。

| | |
|-------|--|
| 役職名 | |
| 設けた理由 | |

(3) 上記(1)で**2**と回答した大学にうかがいます。貴大学では、その学長補佐等を任命する際に、下記の点をどの程度重視していますか。**a~d**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

| | 重視 している | やや重視 している | どちらとも いえない | あまり重視 していない | 重視 していない | |
|--------------|------------|--------------|---------------|----------------|-------------|--------|
| a. 担当職務の専門性 | 62.8 | 25.6 | 7.7 | 2.6 | 1.3 | (n=78) |
| b. 潜在的能力や将来性 | 54.7 | 34.7 | 10.7 | 0.0 | 0.0 | (n=75) |
| c. 部局からの推薦 | 5.4 | 12.2 | 13.5 | 18.9 | 50.0 | (n=74) |
| d. 学長の方針・意向 | 88.5 | 9.0 | 1.3 | 0.0 | 1.3 | (n=78) |

(4) 上記(1)で**3**と回答した大学にうかがいます。廃止した理由をお答えください。

問6 企画室等の実務的組織

(1) 貴大学では、大学の運営・経営の円滑化を図るため、企画室・財務室・評価分析室などの実務的な組織（監査室を除く）を設置していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

1. 設置している 90.7 2. 設置していない 9.3 3. 廃止した 0.0

(2) **3**と回答した大学にうかがいます。廃止した理由をお答えください。

問7 中期目標・中期計画策定に関する組織

(1) 貴大学では、次期中期目標・中期計画の検討にあたり、どのような組織を活用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=84)

1. プロジェクトチームのような新たに設置した組織 61.9
2. 既存の組織 38.1

(2) 上記(1)で **1** と回答した大学にうかがいます。新たに設置した組織の名称、構成員及びその任務並びにその設置理由をお答えください。

| | |
|------|--|
| 名称 | |
| 構成員 | |
| 任務 | |
| 設置理由 | |

(3) 上記(1)で **2** と回答した大学にうかがいます。活用した既存組織の名称、構成員及び本来の任務並びに当該組織を活用することにした理由をお答えください。

| | |
|------|--|
| 名称 | |
| 構成員 | |
| 任務 | |
| 活用理由 | |

問8 学長選考会議

(1) 学長選考会議の運営の在り方について、どのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=85)

1. 大学内の意見を十分に尊重した上で意思決定をするべきだ 24.7
2. 大学内のみならず大学外の意見も尊重した上で意思決定をするべきだ 31.8
3. 学長選考会議は大学内外からの構成となっているので、学長選考会議での審議で十分である 42.4
4. その他 () 1.2

問9 意思決定における役割

(1) 貴大学では、全学的意思決定の過程で、下記のそれぞれの役職あるいは組織が果たす役割は、法人化以降どのように変化してきましたか。a~k それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 年度計画の作成における役割

| | 大きく なった | やや大きく なった | 変化 なし | やや小さく なった | 小さく なった | |
|---------------------|------------|--------------|----------|--------------|------------|--------|
| a. 学長..... | 77.9 | 17.4 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | (n=86) |
| b. 理事..... | 68.6 | 30.2 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | (n=86) |
| c. 役員会..... | 62.4 | 27.1 | 10.6 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| d. 拡大役員会、戦略会議等..... | 39.7 | 37.0 | 21.9 | 1.4 | 0.0 | (n=73) |
| e. 経営協議会..... | 27.1 | 45.9 | 25.9 | 1.2 | 0.0 | (n=85) |
| f. 教育研究評議会..... | 10.7 | 32.1 | 41.7 | 13.1 | 2.4 | (n=84) |
| g. 部局長会議..... | 9.5 | 19.0 | 47.6 | 15.9 | 7.9 | (n=63) |
| h. 部局教授会..... | 0.0 | 6.0 | 52.4 | 35.7 | 6.0 | (n=84) |
| i. 全学委員会..... | 4.9 | 17.3 | 59.3 | 13.6 | 4.9 | (n=81) |
| j. 学長補佐等..... | 6.4 | 56.4 | 34.6 | 0.0 | 2.6 | (n=78) |
| k. 事務局長..... | 22.4 | 31.6 | 32.9 | 10.5 | 2.6 | (n=76) |

2. 新規概算・特別教育研究経費要求案の作成における役割

| | 大きく なった | やや大きく なった | 変化 なし | やや小さく なった | 小さく なった | |
|----------------|------------|--------------|----------|--------------|------------|--------|
| a. 学長 | 84.7 | 11.8 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| b. 理事 | 70.6 | 25.9 | 3.5 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| c. 役員会 | 58.8 | 25.9 | 15.3 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| d. 拡大役員会、戦略会議等 | 31.0 | 40.8 | 23.9 | 0.0 | 4.2 | (n=71) |
| e. 経営協議会 | 10.7 | 36.9 | 48.8 | 1.2 | 2.4 | (n=84) |
| f. 教育研究評議会 | 5.9 | 24.7 | 56.5 | 7.1 | 5.9 | (n=85) |
| g. 部局長会議 | 4.6 | 23.1 | 47.7 | 13.8 | 10.8 | (n=65) |
| h. 部局教授会 | 2.4 | 4.8 | 57.8 | 28.9 | 6.0 | (n=83) |
| i. 全学委員会 | 2.5 | 12.7 | 59.5 | 16.5 | 8.9 | (n=79) |
| j. 学長補佐等 | 5.1 | 47.4 | 43.6 | 0.0 | 3.8 | (n=78) |
| k. 事務局長 | 26.7 | 33.3 | 33.3 | 2.7 | 4.0 | (n=75) |

3. 学内の予算配分方針の作成における役割

| | 大きく なった | やや大きく なった | 変化 なし | やや小さく なった | 小さく なった | |
|----------------|------------|--------------|----------|--------------|------------|--------|
| a. 学長 | 80.0 | 18.8 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| b. 理事 | 62.4 | 31.8 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| c. 役員会 | 56.5 | 29.4 | 14.1 | 0.0 | 0.0 | (n=85) |
| d. 拡大役員会、戦略会議等 | 25.7 | 40.0 | 30.0 | 1.4 | 2.9 | (n=70) |
| e. 経営協議会 | 17.9 | 36.9 | 44.0 | 1.2 | 0.0 | (n=84) |
| f. 教育研究評議会 | 3.5 | 30.6 | 49.4 | 8.2 | 8.2 | (n=85) |
| g. 部局長会議 | 3.1 | 24.6 | 47.7 | 15.4 | 9.2 | (n=65) |
| h. 部局教授会 | 0.0 | 2.4 | 59.0 | 26.5 | 12.0 | (n=83) |
| i. 全学委員会 | 3.8 | 8.8 | 62.5 | 15.0 | 10.0 | (n=80) |
| j. 学長補佐等 | 5.1 | 38.5 | 51.3 | 0.0 | 5.1 | (n=78) |
| k. 事務局長 | 23.7 | 36.8 | 34.2 | 2.6 | 2.6 | (n=76) |

(2) 法人化後の上記意思決定過程に関与している役職・組織を、影響力の大きい順に下記の a～k のうちから 3 つお答えください。

- a. 学長
b. 理事
c. 役員会
d. 拡大役員会、戦略会議等
e. 経営協議会
f. 教育研究評議会
g. 部局長会議
h. 部局教授会
i. 全学委員会
j. 学長補佐等
k. 事務局長

| | 1 番目 | 2 番目 | 3 番目 |
|----------------------------|--|---|---|
| 1. 年度計画(n=84) | a. 学長 64.3 b. 理事 11.9 c. 役員会 11.9 d. 拡大役員会、 戦略会議等 8.3 e. 経営協議会 0.0 f. 教育研究評議会 0.0 g. 部局長会議 0.0 h. 部局教授会 2.4 i. 全学委員会 1.2 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 0.0 | a. 学長 23.8 b. 理事 36.9 c. 役員会 20.2 d. 拡大役員会、 戦略会議等 10.7 e. 経営協議会 2.4 f. 教育研究評議会 1.2 g. 部局長会議 1.2 h. 部局教授会 0.0 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 1.2 | a. 学長 3.6 b. 理事 22.6 c. 役員会 20.2 d. 拡大役員会 戦略会議等 16.7 e. 経営協議会 1.2 f. 教育研究評議会 9.5 g. 部局長会議 7.1 h. 部局教授会 4.8 i. 全学委員会 3.6 j. 学長補佐等 6.0 k. 事務局長 4.8 |
| 2. 特別教育研究 経費等の要求案(n=84) | a. 学長 72.6 b. 理事 8.3 c. 役員会 9.5 d. 拡大役員会、 戦略会議等 3.6 e. 経営協議会 0.0 f. 教育研究評議会 0.0 g. 部局長会議 0.0 h. 部局教授会 1.2 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 2.4 | a. 学長 14.3 b. 理事 34.5 c. 役員会 23.8 d. 拡大役員会、 戦略会議等 13.1 e. 経営協議会 3.6 f. 教育研究評議会 0.0 g. 部局長会議 0.0 h. 部局教授会 2.4 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 6.0 | a. 学長 6.0 b. 理事 22.6 c. 役員会 20.2 d. 拡大役員会 戦略会議等 14.3 e. 経営協議会 4.8 f. 教育研究評議会 6.0 g. 部局長会議 7.1 h. 部局教授会 4.8 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 2.4 k. 事務局長 9.5 |
| 3. 学内の予算配分方針 (n=84) | a. 学長 69.0 b. 理事 8.3 c. 役員会 13.1 d. 拡大役員会、 戦略会議等 4.8 e. 経営協議会 1.2 f. 教育研究評議会 0.0 g. 部局長会議 0.0 h. 部局教授会 0.0 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 1.2 | a. 学長 23.8 b. 理事 31.0 c. 役員会 19.0 d. 拡大役員会 戦略会議等 6.0 e. 経営協議会 6.0 f. 教育研究評議会 3.6 g. 部局長会議 1.2 h. 部局教授会 0.0 i. 全学委員会 3.6 j. 学長補佐等 0.0 k. 事務局長 6.0 | a. 学長 2.4 b. 理事 22.6 c. 役員会 23.8 d. 拡大役員会、 戦略会議等 15.5 e. 経営協議会 9.5 f. 教育研究評議会 2.4 g. 部局長会議 10.7 h. 部局教授会 0.0 i. 全学委員会 2.4 j. 学長補佐等 2.4 k. 事務局長 8.3 |

2 財務管理について

問10 運営費交付金

(1) 用途を各大学で自由に決定できる運営費交付金制度について、どのようにお考えですか。 **a～c** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

効果が やや効果が どちらともあまり効果が 効果が
ある ある いえない ない ない

- a. 管理運営の合理化・効率化に57.6---- 25.9 -----14.1----- 1.2-----1.2 (n=85)
b. 教育・研究の活性化に42.4---- 34.1 -----20.0----- 1.2-----2.4 (n=85)
c. 社会貢献活動の拡充に35.3---- 30.6 -----29.4----- 3.5-----1.2 (n=85)

(2) 交付金制度について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

| | |
|-------|--|
| メリット | |
| デメリット | |

問11 授業料

(1) 標準授業料の 120%の範囲で各大学が設定する現行の授業料設定方式について、どのように感じておられますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=84)

1. 現行の設定方式でよい 77.4
2. 大学による裁量の余地を広げるべきだ 19.0
3. 大学による裁量の余地を狭めるべきだ 3.6

(2) 現行の授業料設定方式について、特に感じているメリット・デメリットがあれば、自由にお答えください。

| | |
|-------|--|
| メリット | |
| デメリット | |

3 法人化について

問12 法人化についての評価

(1) 法人化は総じて下記の点について、プラス・マイナスどちらの効果があったと思いますか。a～oそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 貴大学にとって

| | 大いに プラス | やや プラス | どちらとも いえない | やや マイナス | 大いに マイナス | |
|------------------|------------|-----------|---------------|------------|-------------|--------|
| a. 大学の個性化に | 43.5 | 48.2 | 7.1 | 1.2 | 0.0 | (n=85) |
| b. 大学の競争力向上に | 25.9 | 49.4 | 17.6 | 7.1 | 0.0 | (n=85) |
| c. 管理運営の合理化・効率化に | 40.0 | 48.2 | 8.2 | 3.5 | 0.0 | (n=85) |
| d. 組織の活性化に | 21.2 | 61.2 | 15.3 | 2.4 | 0.0 | (n=85) |
| e. 財務の健全性に | 10.6 | 36.5 | 34.1 | 9.4 | 9.4 | (n=85) |
| f. 全学的な合意形成に | 14.1 | 44.7 | 34.1 | 7.1 | 0.0 | (n=85) |
| g. 大学の自主性・自律性に | 37.6 | 44.7 | 14.1 | 3.5 | 0.0 | (n=85) |
| h. 教員の意識改革に | 21.2 | 60.0 | 16.5 | 2.4 | 0.0 | (n=85) |
| i. 職員の意識改革に | 21.2 | 60.0 | 17.6 | 1.2 | 0.0 | (n=85) |
| j. 学生の意識改革に | 1.2 | 10.6 | 85.9 | 2.4 | 0.0 | (n=85) |
| k. 大学の一体感の形成に | 10.6 | 43.5 | 40.0 | 5.9 | 0.0 | (n=85) |
| l. 教育活動の活性化に | 12.9 | 57.6 | 23.5 | 3.5 | 2.4 | (n=85) |
| m. 研究活動の活性化に | 16.5 | 47.1 | 20.0 | 12.9 | 3.5 | (n=85) |
| n. 社会貢献活動の拡充に | 27.1 | 58.8 | 12.9 | 0.0 | 1.2 | (n=85) |
| o. 学生支援の活性化に | 21.2 | 47.1 | 24.7 | 3.5 | 3.5 | (n=85) |

2. 国立大学全体にとって

| | 大いに プラス | やや プラス | どちらとも いえない | やや マイナス | 大いに マイナス | |
|------------------|------------|-----------|---------------|------------|-------------|--------|
| a. 大学の個性化に | 20.7 | 64.6 | 12.2 | 2.4 | 0.0 | (n=82) |
| b. 大学の競争力向上に | 17.1 | 50.0 | 24.4 | 7.3 | 1.2 | (n=82) |
| c. 管理運営の合理化・効率化に | 23.2 | 57.3 | 17.1 | 1.2 | 1.2 | (n=82) |
| d. 組織の活性化に | 18.3 | 46.3 | 32.9 | 2.4 | 0.0 | (n=82) |
| e. 財務の健全性に | 4.9 | 28.0 | 46.3 | 9.8 | 11.0 | (n=82) |
| f. 全学的な合意形成に | 6.2 | 37.0 | 48.1 | 6.2 | 2.5 | (n=81) |
| g. 大学の自主性・自律性に | 24.4 | 51.2 | 18.3 | 4.9 | 1.2 | (n=82) |
| h. 教員の意識改革に | 11.0 | 59.8 | 25.6 | 2.4 | 1.2 | (n=82) |
| i. 職員の意識改革に | 13.4 | 54.9 | 29.3 | 2.4 | 0.0 | (n=82) |
| j. 学生の意識改革に | 1.2 | 8.5 | 89.0 | 1.2 | 0.0 | (n=82) |
| k. 大学の一体感の形成に | 3.7 | 35.4 | 54.9 | 4.9 | 1.2 | (n=82) |
| l. 教育活動の活性化に | 6.1 | 56.1 | 30.5 | 4.9 | 2.4 | (n=82) |
| m. 研究活動の活性化に | 7.3 | 46.3 | 30.5 | 12.2 | 3.7 | (n=82) |
| n. 社会貢献活動の拡充に | 17.1 | 56.1 | 24.4 | 1.2 | 1.2 | (n=82) |

o. 学生支援の活性化に..... 11.0-----45.1-----36.6-----4.9-----2.4 (n=82)

(2) 総合的に勘案して、法人化は**貴大学**により結果をもたらしていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)

1. そう思う 67.5 2. そう思わない 20.5 3. わからない 12.0

(3) **1** または **2** と回答された大学にうかがいます。そう思うまたはそう思わない理由を具体的にお答えください。

(4) 法人化は、**将来、貴大学**により結果をもたらすと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)

1. そう思う 45.8 2. そう思わない 25.3 3. わからない 28.9

(5) **1** または **2** と回答された大学にうかがいます。そう思うまたはそう思わない理由を具体的にお答えください。

問13 法人化後の大学運営

(1) 法人化によって、国立大学には、様々な側面で運営上の自由度や裁量が増えました。貴大学では、こうした自由度や裁量の拡大が、大学の運営に際して、良い（プラス）の効果をもたらしていると感じていますか。a～dそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(n=85)

大いに やや どちらとも やや 大いに
プラス プラス いえない マイナス マイナス

- a. 組織面での自由度や裁量.....29.4-----57.6----- 12.9-----0.0----- 0.0
(例. 部局や運営組織とその構成員に関する自主的決定権など)
- b. 人事面での自由度や裁量.....29.4-----43.5----- 25.9-----0.0----- 1.2
(例. 学長の教職員任命権、給与システムの決定権など)
- c. 財政面での自由度や裁量.....20.0-----62.4----- 16.5-----0.0----- 1.2
(例. 用途指定のない運営費交付金制度、剰余金の繰越権限など)
- d. 方針面での自由度や裁量.....37.6-----47.1----- 15.3-----0.0----- 0.0
(例. 目標・計画の自主的策定、個性化の促進など)

(2) 上記(1)でおたずねした運営上の自由度や裁量についてうかがいます。貴大学では、こうした自由度や裁量の拡大が、法人化後の大学運営におよぼした効果の度合をどのように感じていますか。 **a～d** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(n=85)

| | 大きく | やや | どちらとも | あまり | ほとんど |
|----------------------|------|------|-------|------|------|
| | 影響 | 影響 | いえない | 影響なし | 影響なし |
| a. 組織面での自由度や裁量 | 42.4 | 47.1 | 9.4 | 1.2 | 0.0 |
| b. 人事面での自由度や裁量 | 28.2 | 56.5 | 15.3 | 0.0 | 0.0 |
| c. 財政面での自由度や裁量 | 29.4 | 60.0 | 9.4 | 0.0 | 1.2 |
| d. 方針面での自由度や裁量 | 42.4 | 44.7 | 11.8 | 1.2 | 0.0 |

(3) 法人化後、国立大学には、上記のように自由度や裁量が拡大した半面、従前から残っている制約も少なからずあり、また、新たに加わった義務や責任もあります。貴大学では、こうした義務や制約が、大学運営上、どの程度影響していると感じていますか。 **a～d** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(n=85)

| | 大きく | やや | どちらとも | あまり | ほとんど |
|---|------|------|-------|------|------|
| | 影響 | 影響 | いえない | 影響なし | 影響なし |
| a. 組織面での義務や制約 | 19.0 | 50.0 | 19.0 | 10.7 | 1.2 |
| (例. 法定化された主要運営組織、文部科学省による学長承認など) | | | | | |
| b. 人事面での義務や制約 | 23.5 | 55.3 | 16.5 | 3.5 | 1.2 |
| (例. 移動官職人事の継続、交付金対象の退職手当に制約された給与システムなど) | | | | | |
| c. 財政面での義務や制約 | 54.1 | 35.3 | 8.2 | 2.4 | 0.0 |
| (例. 運営費交付金削減等による財源の制約、学生納付金の標準額設定など) | | | | | |
| d. 方針面での義務や制約 | 48.2 | 43.5 | 5.9 | 2.4 | 0.0 |
| (例. 目標・計画の設定と評価の義務化、それに伴う事務負荷の増大など) | | | | | |

(4) 上記(1)および(2)の自由度・裁量と、(3)の義務・制約のバランスを考えた場合、貴大学が現在置かれている立場として、最も近いものを **1つ** お答えください。(n=85)

1. 大学運営にあたっての自由度や裁量は十分に大きく、義務や制約はそれほど重荷に感じない 8.2
2. 大学運営にあたっての自由度や裁量の大きさは実感しているものの、義務や制約も大きい 81.2
3. 義務や制約が大きく、あまり大学運営における自由度や裁量を実感できない 9.4
4. 大学運営にあたっての自由度や裁量の大きさは実感できず、また義務や制約もそれほど重荷ではない 1.2

問14 今後の法人経営に必要なもの

(1) 18歳人口の減少や運営費交付金の効率化係数など、当面、国立大学法人の経営を取り巻く環境は厳しいものとなることが想定されますが、質の高い教育研究を実現する法人経営を行う上で、今後どのような対応が重要と考えますか。ご自由にお書きください。

問15 自由回答

その他法人化に関して感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

＜財務担当理事用＞2010/03/17 現在

基礎集計表

国立大学法人の
財務管理に関する
全国調査

2008年12月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、**財務担当の理事の方を対象**としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、**複数回答・単一回答の指示に注意**してご回答ください。
3. 回答は、**調査票に直接ご記入下さい**。
4. ご記入の済みました調査票は、同封の返信用封筒をご使用の上、ご返送ください。
5. また、別途ご提供をお願いしております資料につきましては、同封の宅配伝票（着払）をご使用の上、お送りください。
6. 上記の調査票および資料につきましては、**2009年2月2日（月）までにお送りいただきたく、よろしくお願いを申し上げます**。
7. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

2 資金の配分

問3 予算編成

- (1) 貴大学では、**現在**学内予算の編成にあたってどのような方針をとっていますか。(n=86)
1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 62.8
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 36.0
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 1.2
- (2) 貴大学では、**今後**学内予算の編成にあたってどのような方針をとりたいと考えていますか。(n=85)
1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 20.0
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 70.6
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 9.4
- (3) 貴大学では、学内の予算編成にあたって各部局等に予算要求案の提出を求めていますか。(n=84)
1. 予算要求案の提出を求めている 27.4
 2. 一部の経費について予算要求案の提出を求めている 64.3
 3. 予算要求案の提出は求めている 8.3
- (4) **現在**の学内予算編成に、下記の役職・組織はどの程度関与していますか。a～kそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

大きく関与 ある程度関与 あまり関与 ほとんど関与 関与して
している している していない していない いない

- a. 学長 91.9 ---- 8.1 ---- 0.0 ---- 0.0 ---- 0.0
- b. 理事 86.0 ---- 14.0 ---- 0.0 ---- 0.0 ---- 0.0
- c. 役員会 79.1 ---- 18.6 ---- 2.3 ---- 0.0 ---- 0.0
- d. 経営協議会 59.3 ---- 34.9 ---- 3.5 ---- 1.2 ---- 1.2
- e. 大学が独自に設置した組織
(役員懇談会、運営会議等) 37.2 ---- 26.7 ---- 17.4 ---- 15.1 ---- 3.5
- f. 教育研究評議会 12.8 ---- 31.4 ---- 36.0 ---- 18.6 ---- 1.2
- g. 部局長会議 8.1 ---- 24.4 ---- 19.8 ---- 20.9 ---- 26.7
- h. 部局教授会 8.1 ---- 17.4 ---- 27.9 ---- 39.5 ---- 7.0
- i. 全学委員会(予算委員会・財務委員会など) 39.5 ---- 14.0 ---- 10.5 ---- 15.1 ---- 20.9
- j. 学長補佐 8.1 ---- 18.6 ---- 19.8 ---- 34.9 ---- 18.6
- k. 事務局長 64.0 ---- 12.8 ---- 3.5 ---- 3.5 ---- 16.3

- (5) 上記 a～k のうち、最終的な予算の決定に大きな影響力を与えていると思う役職・組織を、その影響力の大きさの順に**3つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

| 1 番目(n=86) (最も大きい影響力) | 2 番目(n=86) | 3 番目(n=85) |
|------------------------------------|---|--|
| a 75.6 b 3.5 c 16.3 d 3.5 i 1.2 | a 14.0 b 34.9 c 33.7 d 7.0 e 2.3 i 5.8 k 2.3 | a 2.4 b 22.4 c 17.6 d 25.9 e 9.4 g 3.5 i 14.1 k 4.7 |

- (6) 貴大学の学内予算編成の実態は、下記のうちどのタイプに最も近いですか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

| | | | | |
|-----------|-----------|-------|----------|--------|
| | どちらかというと | | どちらかというと | |
| 学長・役員等による | 学長・役員等による | どちらとも | 部局等からの | 部局等からの |
| トップダウン | トップダウン | 言えない | ボトムアップ | ボトムアップ |
| 12.8 | 57.0 | 24.4 | 4.7 | 1.2 |

(7) 貴大学では、予算配分にあたって、**現在**または**今後**、下記の経費（**外部資金を除く運営費交付金対象分**）のいずれをより重視していますか。効率化係数への対応にあたり、どちらの経費を優先的に確保するかという視点でお答えください。

| 現在 | | | | 今後 | | | | | | | | | |
|-------|--------------------|---------------|------------|-----|------|--------------------|------------|------|-----|------|-----|------|---------------|
| A | Aを より重視 いえない | どちらとも いえない | Bを より重視 | B | A | Aを より重視 いえない | Bを より重視 | B | | | | | |
| 本部経費 | 24.4 | --- | 58.5 | --- | 17.1 | 部局経費 (n=82) | 本部経費 | 24.7 | --- | 63.0 | --- | 12.3 | 部局経費 (n=81) |
| 人件費 | 51.2 | --- | 45.3 | --- | 3.5 | 物件費 (n=86) | 人件費 | 45.9 | --- | 50.6 | --- | 3.5 | 物件費 (n=85) |
| 教員人件費 | 27.9 | --- | 72.1 | --- | 0.0 | 職員人件費 (n=86) | 教員人件費 | 31.8 | --- | 68.2 | --- | 0.0 | 職員人件費 (n=85) |
| 管理的経費 | 5.8 | --- | 23.3 | --- | 70.9 | 教育研究経費 (n=86) | 管理的経費 | 6.0 | --- | 19.0 | --- | 75.0 | 教育研究経費 (n=84) |
| 教育経費 | 44.7 | --- | 54.1 | --- | 1.2 | 研究経費(n=85) | 教育経費 | 55.3 | --- | 44.7 | --- | 0.0 | 研究経費 (n=85) |

(8) 貴大学では、中期目標・計画の達成と関連づけた予算編成ができていますか。
 できている 30.2 あるいは かなりできている 65.1 どちらとも 4.7 言えない あるいは ほとんどできている 0.0 できていない 0.0 (n=86)

問4 本部・部局間資金配分

(1) 貴大学では、部局に配分した資金について、費目別の用途を指定していますか。(n=79)
 1. 用途指定していない 30.4 2. 一部用途指定している 62.0 3. すべて用途指定している 7.6

(2) 貴大学では、本部経費（重点的・競争的配分経費など、全学的に必要な経費として本部で管理している経費を含む）と部局経費（部局ごとに必要とし、部局で管理している経費）の配分（額の決定）にあたって、下記のいずれにより近い考え方をとっていますか。効率化係数への対応にあたり、どちらの経費を優先的に確保するかという視点でお答えください。

(n=78) Aをより重視 32.1 どちらともいえない 55.1 Bをより重視 12.8 部局の必要経費を優先的に確保

(3) 貴大学では、部局への教育・研究に関わる資金配分に際して、旧来の教官当・学生当の積算単価（基盤校費導入以前のもの）を利用していますか。(n=77)
 1. 利用している 11.7 2. 修正して利用している 42.9 3. 利用していない 45.5

(4) 貴大学では、部局において当初配分予算に執行残が生じた場合、下記のいずれに近い取り扱いをしていますか。(n=79)
 1. 残額の全額を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 39.2
 2. 残額の一部を翌年度の部局経費に上乗せ配分する 25.3
 3. 残額は本部経費とし、部局経費に上乗せ配分しない 35.4

(5) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に申請した競争的資金等（科学研究費補助金など）の件数・金額を関連づけていますか。(n=79)
 1. 関連づけている 41.8 2. 今後関連づける予定 16.5 3. 関連づける予定はない 41.8

(6) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が獲得した競争的資金・外部資金等（科学研究費補助金や受託・共同研究など）の額を関連づけていますか。(n=79)
 1. 関連づけている 39.2 2. 今後関連づける予定 21.5 3. 関連づける予定はない 39.2

問5 予算の配分額

(1) 貴大学では、平成20年度と法人化後2年目(平成17年度)を比較して、下記の各経費の予算額は概ねどのように変化しましたか。a～lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

| | 大きく 増加 | やや 増加 | どちらとも いえない | やや 減少 | 大きく 減少 | |
|---------------------|-----------|----------|---------------|----------|-----------|--------|
| a. 全学共通経費 | 3.6 | 32.5 | 26.5 | 32.5 | 4.8 | (n=83) |
| b. 学長等による裁量的経費 | 23.8 | 40.5 | 21.4 | 9.5 | 4.8 | (n=84) |
| c. 全学的な重点・戦略的配分経費 | 25.0 | 47.6 | 20.2 | 4.8 | 2.4 | (n=84) |
| d. 全学的な施設整備費 | 28.2 | 27.1 | 32.9 | 10.6 | 1.2 | (n=85) |
| e. 全学的な施設の維持・保全費 | 9.4 | 32.9 | 31.8 | 23.5 | 2.4 | (n=85) |
| f. 部局共通経費 | 0.0 | 5.6 | 56.9 | 33.3 | 4.2 | (n=72) |
| g. 部局長等による裁量的経費 | 8.6 | 14.3 | 54.3 | 21.4 | 1.4 | (n=70) |
| h. 部局における重点・戦略的配分経費 | 8.7 | 18.8 | 62.3 | 10.1 | 0.0 | (n=69) |
| i. 部局における施設整備費 | 0.0 | 8.8 | 66.2 | 23.5 | 1.5 | (n=68) |
| j. 部局における施設の維持・保全費 | 0.0 | 8.7 | 59.4 | 31.9 | 0.0 | (n=69) |
| k. 各教員の基盤的な教育費 | 2.4 | 9.4 | 40.0 | 48.2 | 0.0 | (n=85) |
| l. 各教員の基盤的な研究費 | 0.0 | 7.1 | 30.6 | 54.1 | 8.2 | (n=85) |

(2) 平成20年度の下記の各経費の予算額について、どのようにお考えですか。a～lそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

| | 十分 | まあ 十分 | どちらとも いえない | やや 不十分 | 不十分 | |
|---------------------|-----|----------|---------------|-----------|------|--------|
| a. 全学共通経費 | 2.4 | 15.9 | 24.4 | 42.7 | 14.6 | (n=82) |
| b. 学長等による裁量的経費 | 4.8 | 28.6 | 21.4 | 31.0 | 14.3 | (n=84) |
| c. 全学的な重点・戦略的配分経費 | 1.2 | 30.6 | 21.2 | 29.4 | 17.6 | (n=85) |
| d. 全学的な施設整備費 | 0.0 | 11.8 | 18.8 | 32.9 | 36.5 | (n=85) |
| e. 全学的な施設の維持・保全費 | 0.0 | 4.7 | 17.6 | 42.4 | 35.3 | (n=85) |
| f. 部局共通経費 | 0.0 | 2.8 | 48.6 | 38.9 | 9.7 | (n=72) |
| g. 部局長等による裁量的経費 | 0.0 | 10.0 | 44.3 | 35.7 | 10.0 | (n=70) |
| h. 部局における重点・戦略的配分経費 | 0.0 | 5.8 | 47.8 | 31.9 | 14.5 | (n=69) |
| i. 部局における施設整備費 | 0.0 | 0.0 | 36.8 | 33.8 | 29.4 | (n=68) |
| j. 部局における施設の維持・保全費 | 0.0 | 1.4 | 31.9 | 37.7 | 29.0 | (n=69) |
| k. 各教員の基盤的な教育費 | 1.2 | 5.9 | 31.8 | 30.6 | 30.6 | (n=85) |
| l. 各教員の基盤的な研究費 | 1.2 | 7.1 | 28.2 | 28.2 | 35.3 | (n=85) |

(3) 上記a～lのうち、配分額が最も不十分だったと思われる経費を1つ選び、下の欄内に記号を記入してください。(n=76)

| | | | |
|----|------|---|------|
| a. | 5.3 | g | 0.0 |
| b. | 7.9 | h | 0.0 |
| c. | 9.2 | i | 5.3 |
| d. | 26.3 | j | 3.9 |
| e. | 11.8 | k | 14.5 |
| f. | 0.0 | l | 15.8 |

3 費用の節減

問6 人件費の節減

(1) 貴大学では、国の総人件費改革に関連して、どのような人件費節減方策をお持ちですか。
a ~ l それぞれについて、あてはまる番号**すべてに○**をつけてください。該当 該当なし

| | | |
|--------------------------------|------|-------------|
| a. 承継教職員枠に対する退職者の補充繰り延べ、または不補充 | 90.7 | 9.3 (n=86) |
| b. 手当類の見直し（具体的に： _____） | 20.9 | 79.1 (n=86) |
| c. 昇給表の見直し | 9.3 | 90.7 (n=86) |
| d. 学長裁量の教職員枠の設定と管理 | 47.7 | 52.3 (n=86) |
| e. 任期制教員枠の拡大 | 38.4 | 61.6 (n=86) |
| f. 常勤教員から非常勤教員への転換 | 17.4 | 82.6 (n=86) |
| g. 常勤職員から非常勤職員への転換 | 32.6 | 67.4 (n=86) |
| h. 非常勤教員の削減 | 24.4 | 75.6 (n=86) |
| i. 非常勤職員の削減 | 16.3 | 83.7 (n=86) |
| j. 外部委託の推進 | 50.0 | 50.0 (n=86) |
| k. 退職者再雇用の推進 | 58.1 | 41.9 (n=86) |
| l. その他（具体的に： _____） | 14.0 | 86.0 (n=86) |

(2) 貴大学では、その人件費の管理に関連して、長期的な予測や推計に基づく対応策を立てていますか。(n=83)

1. **すでに立てている** 51.8 2. **現在検討している** 36.1 3. **検討していない** 12.0



(3) **1** もしくは **2** と回答した大学にうかがいます。具体的にその内容をお答えください。

問7 物件費等の経費の節減

(1) 貴大学では、下記の経費について全学的な節減のための方策をお持ちですか。**a ~ d** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

| | | | | |
|---------------------|------|-------|--------|--------------|
| | | もっている | もっていない | |
| a. 旅費 | 51.2 | ---- | 48.8 | ---- (n=84) |
| b. 光熱水費 | 90.7 | ----- | 9.3 | ----- (n=86) |
| c. 物品購入費 | 82.4 | ---- | 17.6 | ---- (n=85) |
| d. その他（具体的に： _____） | | | | |

4 目的積立金の活用

問8 目的積立金制度

(1) 目的積立金制度は、剰余金が発生した場合に積立て、中期計画の遂行のため、それを年度を越えて使用できるように設計されています。この制度目的の利点を感じておられますか。(n=85)

| | | | |
|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 利点を 感じている | ある程度 感じている | あまり 感じていない | 利点を 感じない |
| 75.3 | 22.4 | 2.4 | 0.0 |

- (2) 上記(1)で**3**または**4**とご回答いただいた方にお尋ねします。制度的な利点を感じない理由をお答えください。

| |
|--|
| |
|--|

- (3) 平成 19 年度末の目的積立金残高について、平成 20 年度と平成 21 年度の 2 年間で全額使用する予定ですか。(n=82)

1. はい 97.6 2. いいえ 2.4 3. 検討中 0.0

5 学生納付金

問9 収入の水準と確保

- (1) 学生納付金についてうかがいます。その収納確保をはかるために、全学レベルで特別な取組をしていますか。 **a** と **b** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

している していない

- a. 授業料・入学金収入 45.2 ----- -54.8 (n=84)
 b. 受験料収入 48.8 ----- -51.2 (n=84)

- (2) 上記(1)で **a** と **b** それぞれについて、**1** と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか（退学・休学・未納を防ぐ全学的な方策等も含めてください）。

- a. 授業料・入学金収入について

()

- b. 受験料収入について

()

- (3) 授業料水準の今後の予定をお聞かせください。

値下げ 据え置き 値上げ 未定

- a. 学部 0.0 ----- 59.3 ----- 0.0 ----- 40.7 (n=81)
 b. 大学院 0.0 ----- 59.5 ----- 0.0 ----- 40.5 (n=84)

- (4) 上記(3)の回答の理由をお聞かせください。

| | |
|-----|--|
| 学部 | |
| 大学院 | |

- (5) 授業料水準を決定するに当たって、以下の項目をどの程度重視しますか

重視する 重視しない どちらとも
 いえない

- a. 機会均等の実現など国立大学の使命 90.2 ----- 0.0 ----- 9.8 (n=82)
 b. 地元学生の優遇など地域貢献 31.7 ----- 24.4 ----- 43.9 (n=82)
 c. 優秀な学生、留学生確保など競争力強化 74.4 ----- 3.7 ----- 22.0 (n=82)
 d. 収入の確保 59.8 ----- 4.9 ----- 35.4 (n=82)
 e. 質の高い教育の提供 72.0 ----- 1.2 ----- 26.8 (n=82)
 f. 運営費交付金削減への対応 46.3 ----- 11.0 ----- 42.7 (n=82)
 g. 学生支援サービスの向上 65.4 ----- 2.5 ----- 32.1 (n=81)
 h. その他、重視する点があれば記述してください ()

問10 授業料減免・大学独自奨学金

(1) 貴大学では、**法人化2年目（平成17年度）以降**、授業料減免に関する方針を変更しましたか。(n=84)

1. 変更した 38.1 2. 今後変更を予定している 7.1 3. 変更していない 54.8

(2) 上記(1)で**1**または**2**とお答えいただいた大学にうかがいます。方針をどのように変更されたか（または、変更する予定か）について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 学部について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

a. 減免の基準 5.4----- 40.5----- 54.1 (n=37)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

b. 減免の総額 37.8----- 62.2----- 0.0 (n=37)

c. 一人当たり減免額 0.0----- 81.1----- 18.9 (n=37)

d. 減免の人数 62.2----- 37.8----- 0.0 (n=37)

2. 大学院について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

a. 減免の基準 7.5----- 45.0----- 47.5 (n=40)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

b. 減免の総額 42.1----- 57.9----- 0.0 (n=38)

c. 一人当たり減免額 5.3----- 76.3----- 18.4 (n=38)

d. 減免の人数 68.4----- 31.6----- 0.0 (n=38)

(3) 貴大学には、大学または学部・大学院による独自の奨学金制度（同窓会の奨学金制度も含む）がありますか。(n=86)

1. ある 74.4 2. 今後設置の予定 5.8 3. ない 19.8

(4) 上記(3)で**1**または**2**とお答えいただいた大学にうかがいます。授業料減免または奨学金制度の**今後**の方針について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 学部について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

e. 給付の基準 23.8----- 23.8----- 52.4 (n=63)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

f. 給付の総額 31.7----- 68.3----- 0.0 (n=63)

g. 一人当たり給付額 12.7----- 84.1----- 3.2 (n=63)

h. 給付の人数 36.5----- 63.5----- 0.0 (n=63)

2. 大学院について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

i. 給付の基準 40.0----- 16.9----- 43.1 (n=65)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

j. 給付の総額 39.4----- 59.1----- 1.5 (n=66)

k. 一人当たり給付額 21.2----- 78.8----- 0.0 (n=66)

l. 給付の人数 39.4----- 59.1----- 1.5 (n=66)

- (5) 貴大学の授業料減免制度または独自奨学金制度の財源は何ですか。また、配分方法をお聞かせください。

問11 授業料についてのご意見

- (1) 現在、国立大学の授業料は、文部科学省が標準額を設定し、120%の範囲で各大学が独自額を決定できます。この制度についてご意見をおうかがいします。

- a. 文部科学省が標準額を設定すること自体について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
 1. 賛成 91.6
 2. 反対 3.6
 3. その他ご意見 () 4.8
- b. 120%の範囲について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=81)
 1. 自由度が小さすぎる 21.0
 2. 自由度が大きすぎる 14.8
 3. その他ご意見 () 64.2
- c. 標準額の水準について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
 1. 高すぎる 25.3
 2. 低すぎる 4.8
 3. 適正 67.5
 4. その他ご意見 () 2.4
- d. 私立大学と比較して、現在の授業料の水準についてどのように考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
 1. 高すぎる 16.9
 2. 低すぎる 4.8
 3. 適正 67.5
 4. その他ご意見 () 10.8
- e. 提供している教育サービスの水準と比較して、現在の授業料の水準についてどのように考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
 1. 高すぎる 3.6
 2. 低すぎる 12.0
 3. 適正 71.1
 4. その他ご意見 () 13.3
- f. その他、貴大学および学部・大学院で学生の経済的支援策（提携銀行ローンなど）があればお聞かせください。

6 国からの財源措置

問12 基盤的資金と競争的資金

- (1) 貴大学では、**今後**の国からの財源措置について、どのような方向性を希望していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
1. 競争的資金よりも、基盤的資金を拡充すべきである 89.2
 2. 基盤的資金よりも、競争的資金を拡充すべきである 7.2
 3. 基盤的資金および競争的資金とも、現状のままでよい 3.6

7 自由回答とプロフィール

問13 自由回答

その他、第一期中期計画期間の終了を迎えるにあたり、法人化について感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問14 理事ご自身のプロフィール

最後に、理事ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 理事就任までのご職歴

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

8 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

問15 科学研究費補助金の申請・採択件数

問1（科学研究費補助金）に関連して、下記の**平成20年度**の科研費申請件数・採択件数を、文部科学省（日本学術振興会分含む）・他省庁に分けてそれぞれお答えください。なお、日本学術振興会の特別研究員制度については、対象から除きます。

| | 申請件数 | 採択件数 |
|--------------------------|---------|---------|
| 平成20年度新規分 (平成19年中に申請) | 文部科学省 件 | 文部科学省 件 |
| | | 他省庁 件 |

問16 COE・GPの申請・採択件数

問1（21世紀またはグローバルCOE・GP）の獲得に関連して、**平成20年度採択決定分までの申請件数及び採択件数（のべ件数）**をお答えください。

| | 申請件数（のべ件数） | 採択件数（のべ件数） |
|-----|------------|------------|
| COE | 件 | 件 |
| GP | 件 | 件 |

問17 特別教育研究経費の申請・採択件数

問1（特別教育研究経費）に関連して、**平成20年度（19年度作業分）**の要求・採択件数および金額をお答えください。

| | 申請件数・金額 | 採択件数・金額 |
|-----------------------|-----------|-----------|
| 平成20年度 (平成19年度作業分) | 新規要求 件 | 新規要求 件 |
| | 円 | 円 |

問18 競争的資金・外部資金等の獲得に向けた全学レベルの取組

問2（競争的資金・外部資金等の獲得に向けた取組）において、全学レベルの取組を「**1. している**」と回答した大学にうかがいます。その取組内容についてお答えください。

| 競争的資金・外部資金等 | 取組内容 |
|----------------------|------|
| 科学研究費補助金 | |
| グローバルCOE | |
| その他の文部科学省所管の競争的研究資金 | |
| 各種GPプログラム | |
| 特別教育研究経費 (運営費交付金) | |

| 競争的資金・外部資金等 | 取組内容 |
|--------------------|------|
| 他省庁科研費 (厚生労働省等) | |
| 共同研究 | |
| 受託研究 | |
| 受託事業 | |
| 寄附金 | |
| 知財関連収入 | |

問19 大学が独自に設置した組織

問3の(4)(学内予算編成への役職・組織の関与)において、「e. 大学が独自に設置した組織」を「1. 大いに関与している」または「2. ある程度関与している」と回答した大学にうかがいます。平成19年度における当該組織の名称、構成員数、開催回数、構成員の役職名についてお答えください。

| | 組織名称 | 構成員数 | 開催回数 | 構成員の役職名 |
|-----|------|------|------|---------|
| (1) | | 名 | 回 | |
| (2) | | 名 | 回 | |
| (3) | | 名 | 回 | |
| (4) | | 名 | 回 | |
| (5) | | 名 | 回 | |

問20 本部・部局間予算配分

(1) 問4(本部・部局間資金配分)に関連して、**法人化後2年目(平成17年度)と平成20年度の**当初予算の金額の内訳を下の表に記入してください。

| 予算項目 | 平成17年度 | 平成20年度 |
|----------------------------|--------|--------|
| 1. 本部経費(人件費) | 千円 | 千円 |
| 2. 本部経費(人件費以外) | 千円 | 千円 |
| 3. 本部経費(退職手当・特殊要因) | 千円 | 千円 |
| 4. 部局配分教育・研究経費 | 千円 | 千円 |
| 5. 部局配分管理経費 | 千円 | 千円 |
| 6. 重点的・戦略的配分経費(学長等裁量経費を含む) | 千円 | 千円 |
| 7. その他 | | |
| 合計 | 千円 | 千円 |

注1. 各予算項目の定義

- 本部経費(人件費): 本部で集中的に管理している人件費。3.に含まれる退職手当を除く。
- 本部経費(人件費以外): 本部で集中的に管理している人件費以外の事務的な経費(主に「一般管理費」などの科目で管理されている経費)。光熱水費などで、部局の負担となっているものは除く。
- 本部経費(退職手当・特殊要因): 運営費交付金における「退職手当」と「特殊要因」に見合う金額。
- 部局配分教育・研究経費: 部局に対して、教員の教育経費や研究経費を賄うために配分された金額。
- 部局配分管理経費: 事務的な経費、光熱水費やその他分担経費などについて、部局に配分された金額。
- 重点的・戦略的配分経費: 全学的な目的達成のために確保され、本部で使用するか、もしくは学内での競争的配分などを通じて、必要に応じて部局や教員に配分された金額。学長等の裁量経費を含む。
- その他: 上記1~6に該当せず、また下記の費目にも当たらないもの。

注2. 次の項目は金額に含めないでください: 病院関係経費、施設整備費、競争的資金・外部資金の直接経費分(間接経費見込額にもとづく本部経費や部局管理経費などは含めてください)。

(2) 上記(1)で「**5. 部局配分管理経費**」に金額を記入した大学にうかがいます。記入した金額のうち、本部への内部振替で戻される金額は、いくらですか(例. 部門使用分の光熱水費、電子ジャーナル利用料など)。

| |
|----|
| 千円 |
|----|

(3) 上記(1)で「**6. 重点的・戦略的配分経費(学長等裁量経費を含む)**」に金額を記入した大学にうかがいます。配分対象となった全学的な目的(例. 教育目的の内部競争資金、研究目的の内部競争資金、国際化、施設・設備の充実、学生支援など)について、具体的な項目を記入してください。

| 重点的・戦略的経費 | 学長等裁量経費 |
|-----------|---------|
| | |

(4) 問 4 (本部・部局間資金配分) の(5)で、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に申請した競争的資金等の件数・金額を「1. 関連づけている」と回答した大学にうかがいます。具体的には、どのような形で関連づけていますか。

(5) 問 4 (本部・部局間資金配分) の(6)で、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に獲得した競争的資金・外部資金等の額を「1. 関連づけている」と回答した大学にうかがいます。具体的には、どのような形で関連づけていますか。

(6) 問 4 (本部・部局間資金配分) に関連して、以下の資料を、別途、お送りください。

1. 平成 19・20 年度予算編成方針および当初予算 (部局別収入・支出予算額内訳含む)
2. 平成 19 年度収入・支出決算 (部局別収入・支出決算額内訳含む)
3. 平成 20 年度予算編成で使用した、本部・部局間の予算配分ルールを説明した資料

問21 予算の配分額

問 5 (予算の配分額) に関連して、貴大学の平成 20 年度における下記の経費は、法人化後 2 年目 (平成 17 年度) と比較してどう変化しましたか。a～e それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

| | | | | |
|---|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| a.学長裁量経費(n=86) (学長個人の裁量により配分可能な経費) | 1. 増加した 59.3 | 2. 変化なし 20.9 | 3. 減少した 18.6 | 4. 該当なし 1.2 |
| b.部局長裁量経費(n=83) (部局長個人の裁量により配分可能な経費) | 1. 増加した 28.9 | 2. 変化なし 21.7 | 3. 減少した 15.7 | 4. 該当なし 33.7 |
| c.戦略的配分経費(n=86) (役員会等の合議を経て戦略的に配分する経費) | 1. 増加した 62.8 | 2. 変化なし 15.1 | 3. 減少した 7.0 | 4. 該当なし 15.1 |
| d.学内公募経費(n=86) (学内公募おこなったうえで、配分する経費) | 1. 増加した 54.7 | 2. 変化なし 18.6 | 3. 減少した 15.1 | 4. 該当なし 11.6 |
| e.傾斜配分経費(n=86) (一定の算定ルールの下で傾斜配分する経費) | 1. 増加した 27.9 | 2. 変化なし 11.6 | 3. 減少した 19.8 | 4. 該当なし 40.7 |

問22 費用の節減額

(1) 問 7 (物件費等の経費の節減) に関連して、お聞きします。「1. 全学的な方策をもっている」とお答えいただいた取組内容について、ご回答ください。

| 費用項目 | 取組内容 |
|-------|------|
| 旅費 | |
| 光熱費 | |
| 物品購入費 | |
| その他 | |

(2) 問 6 (人件費の削減) と問 7 (物件費等の経費の節減) に関連して、お聞きします。お答えいただいた節減策により節減された金額を、節減策ごとに、お分かりになる範囲でご回答ください。

| 人件費 | | 物件費等 | |
|-----|----|------|----|
| 節減策 | 金額 | 節減策 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |

問23 目的積立金の使途

(1) 問 8 (目的積立金制度) の(3)で、平成 19 年度末の目的積立金残高を平成 20 年度と平成 21 年度で全額使用する予定(「1. はい」)とお答えいただいた大学にうかがいます。その使途について、以下にご回答ください。

| 平成 20 年度の目的積立金の使途 | 平成 21 年度の目的積立金の使途 |
|-------------------|-------------------|
| | |

問24 学生納付金

(1) 問 10 (授業料減免・大学独自奨学金) に関連して、以下の資料を、別途、お送りください。

1. 貴大学および同窓会組織等の提供している授業料減免制度および独自奨学金制度の規定・概要を説明した資料

問25 間接経費とオーバーヘッド

間接経費・オーバーヘッドの対象経費、経費率、金額、配分比率をお答えください。

| | | 対象経費 | 経費率 | 金額 | 配分比率 |
|---------|----------------|---------------------------------------|-----|----|-----------------------|
| 間接経費 | 平成 20 年度 | 科学研究費補助金 (文部科学省/日本学 術振興会) | % | 円 | 本部 % 部局 % 獲得者 % |
| | | 競争的資金 文部科学省が所管する 他の競争的資金 | % | 円 | 本部 % 部局 % 獲得者 % |
| | | 競争的資金 他省庁が所管する 競争的資金 | % | 円 | 本部 % 部局 % 獲得者 % |
| | | 民間等との共同研究 ・受託研究 | % | 円 | 本部 % 部局 % 獲得者 % |
| オーバーヘッド | 平成 20 年度 | 寄附金 | % | 円 | 本部 % 部局 % |
| | | 科学研究費補助金(直接経費 相当分からの「オーバーヘッ ド」) | % | 円 | 本部 % 部局 % |
| | | 民間等との共同研究 ・受託研究 | % | 円 | 本部 % 部局 % |
| | | その他 () | % | 円 | 本部 % 部局 % |

注. 「間接経費」は、当初から「直接経費」と「間接経費」に区分されているもの、「オーバーヘッド」は「直接経費」を収入したのち、その一定割合を本部等の管理経費として再配分するもの。なお、科学研究費補助金の「オーバーヘッド」については、同補助金の直接経費相当分の一定割合を、内部的に配分される基盤的な教育・研究経費額から控除する場合に記入のこと。

問26 運営費交付金

貴大学における下記の経費の額についてお答えください。

| | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 標準運営費交付金 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 特定運営費交付金 | 千円 | 千円 | 千円 |
| うち 教育研究診療経費 | 千円 | 千円 | 千円 |
| うち特殊要因経費 | 千円 | 千円 | 千円 |
| うち 退職手当分 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 附属病院運営費交付金 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 効率化額 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 標準運営費交付金 対象事業収入 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 特定運営費交付金 対象事業収入 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 病院運営費交付金 対象事業収入 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 経営改善係数額 | 千円 | 千円 | 千円 |

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。

<学部長用>2010/03/17 現在

基礎集計表

法人化後の学部における
運営管理に関する
全国調査

2008年12月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、学部長を対象としたものです。学部長の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接ご記入下さい。
4. 記入の済んだ調査票は、同封の返信用封筒をご使用の上、2009年2月2日（月）までにご返送ください。
5. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。ご不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

法人化前と現在の状況を比較し、以下の質問について最も当てはまる番号を選び、○印をして下さい。

1 ガバナンス

問1 対本部

(1) 学長の学部事務の意思決定に関する影響力は、どのように変化したと思われますか。(n=263)

| | |
|-------------|------|
| 1. 大きくなった | 36.5 |
| 2. やや大きくなった | 45.6 |
| 3. かわらない | 15.6 |
| 4. やや低下した | 1.5 |
| 5. 低下した | 0.8 |

(2) 理事（事務局長）の学部事務の意思決定に関する影響力は、どのように変化したと思われますか。(n=261)

| | |
|-------------|------|
| 1. 大きくなった | 27.2 |
| 2. やや大きくなった | 46.7 |
| 3. かわらない | 23.4 |
| 4. やや低下した | 1.1 |
| 5. 低下した | 1.5 |

問2 学部・研究科

(1) 学部の意思決定における学部長の役割は、どのように変化したと思われますか。(n=264)

| | |
|-------------|------|
| 1. 大きくなった | 13.3 |
| 2. やや大きくなった | 46.2 |
| 3. かわらない | 28.4 |
| 4. やや低下した | 8.7 |
| 5. 低下した | 3.4 |

(2) 本部（役員会の方針）の方針の影響力は、どのように変化したと思われますか。(n=264)

| | |
|-------------|------|
| 1. 大きくなった | 56.4 |
| 2. やや大きくなった | 39.0 |
| 3. かわらない | 4.5 |
| 4. やや低下した | 0.0 |
| 5. 低下した | 0.0 |

(3) 学部内の意思決定における学部長のリーダーシップは、どのように変化したと思われますか。(n=265)

| | |
|-------------|------|
| 1. 増えた | 20.4 |
| 2. やや増えた | 46.8 |
| 3. かわらない | 26.0 |
| 4. やや少なくなった | 4.9 |
| 5. 少なくなった | 1.9 |

(4) 学部長として次の学部予算の費用について管理責任と権限を有している程度は、現在どのような状況ですか。

①人件費(n=260)

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 21.5 |
| 2. 特定部分（学部非常勤教職員等）のみ管理 | 41.5 |
| 3. 全く管理せず | 37.3 |

②物件費(n=258)

- | | | |
|-------------------|-----------|------|
| 1. 完全に管理 | 37.2 | |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 40.3 | |
| 1. | 3. 全く管理せず | 22.5 |

③競争的資金の間接経費(n=257)

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 31.5 |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 41.6 |
| 3. 全く管理せず | 26.8 |

④施設維持管理費(n=256)

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 完全に管理 | 30.9 |
| 2. 特定部分のみ（具体的に）管理 | 29.7 |
| 3. 全く管理せず | 39.5 |

2 資源

問3 資金

(1) 本部から配賦される学生当たり教育経費は、どのように変化しましたか。(n=264)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.0 |
| 2. やや増加した | 2.3 |
| 3. かわらない | 32.6 |
| 4. やや減少した | 34.1 |
| 5. 減少した | 31.1 |

(2) 本部から配賦される教員当たり研究経費は、どのように変化しましたか。(n=263)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.0 |
| 2. やや増加した | 1.5 |
| 3. かわらない | 12.5 |
| 4. やや減少した | 39.9 |
| 5. 減少した | 46.0 |

(3) 学部長裁量経費は、どのように変化しましたか。(n=255)

- | | |
|--------------|------|
| 1. 増加した | 14.9 |
| 2. やや増加した | 21.6 |
| 3. かわらない | 27.8 |
| 4. やや減少した | 14.1 |
| 5. 減少した | 9.4 |
| 6. 法人化前はなかった | 12.2 |

(4) 学部共通経費は、どのように変化しましたか。(n=259)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 3.9 |
| 2. やや増加した | 12.7 |
| 3. かわらない | 27.0 |
| 4. やや減少した | 33.6 |
| 5. 減少した | 22.8 |

(5) 学生当たり教育経費の充足度は、どのように思われますか。(n=266)

- | | |
|----------------|------|
| 1. 十分である | 0.4 |
| 2. どちらかといえば十分 | 2.6 |
| 3. どちらともいえない | 9.4 |
| 4. どちらかといえば不十分 | 37.2 |
| 5. 不十分である | 50.4 |

(6) 教員当たり研究経費の充足度は、どのように思われますか。(n=265)

- | | |
|----------------|------|
| 1. 十分である | 0.0 |
| 2. どちらかといえば十分 | 2.6 |
| 3. どちらともいえない | 6.0 |
| 4. どちらかといえば不十分 | 25.3 |
| 5. 不十分である | 66.0 |

問4 人員

(1) 学部または研究科所属常勤教員の定員率（学長管理分は除く）は、どのように変化しましたか。(n=264)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.4 |
| 2. やや増加した | 1.5 |
| 3. かわらない | 14.4 |
| 4. やや減少した | 33.0 |
| 5. 減少した | 50.8 |

(2) 職員（技術職員を含む）の定員率は、どのように変化しましたか。(n=263)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 0.4 |
| 2. やや増加した | 0.0 |
| 3. かわらない | 15.2 |
| 4. やや減少した | 39.5 |
| 5. 減少した | 44.9 |

(3) 学部の非常勤教員の数は、どのように変化しましたか。(n=263)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 4.9 |
| 2. やや増加した | 16.7 |
| 3. かわらない | 20.9 |
| 4. やや減少した | 27.4 |
| 5. 減少した | 30.0 |

(4) 学部の任期付き教員の数は、どのように変化しましたか。(n=246)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 27.2 |
| 2. やや増加した | 30.1 |
| 3. かわらない | 39.0 |
| 4. やや減少した | 1.6 |
| 5. 減少した | 2.0 |

(5) 学部の非常勤職員の数は、どのように変化しましたか。(n=264)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 16.7 |
| 2. やや増加した | 34.1 |
| 3. かわらない | 25.4 |
| 4. やや減少した | 15.5 |
| 5. 減少した | 8.3 |

- (6) 学部の任期付き職員の数、どのように変化しましたか。(n=247)
- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 10.9 |
| 2. やや増加した | 27.1 |
| 3. かわらない | 52.2 |
| 4. やや減少した | 8.1 |
| 5. 減少した | 1.6 |
- (7) 学部学術スタッフの充足度は、どのように変化しましたか。(n=254)
- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 0.8 |
| 2. やや高まった | 7.1 |
| 3. かわらない | 42.1 |
| 4. やや低下した | 30.7 |
| 5. 低下した | 19.3 |
- (8) 学部事務支援スタッフの充足度は、どのように変化しましたか。(n=257)
- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 0.4 |
| 2. やや高まった | 8.2 |
| 3. かわらない | 33.5 |
| 4. やや低下した | 39.7 |
| 5. 低下した | 18.3 |
- (9) 今後の学部教員の人事について、どのようにお考えですか。(n=257)
- | | |
|--|-------|
| 1. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、補充等を行わない。 | 18.7 |
| 2. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させるが、任期付き教員や非常勤教員で不足を補う。 | 40.1 |
| 3. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、外部資金を財源にした特任教員等を雇用して補う。 | 22.6 |
| 4. 承継教員の削減割当てにしたがって定員は減少させ、外部資金を積極的に獲得し、特任教員等の数を増やし、現状よりも教員スタッフを充実させる。 | 12.8 |
| 5. その他(具体的に |) 5.8 |

3 活動(標準的な教員を念頭にお答え下さい。)

問5 教育

- (1) 教育全体に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)
- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 33.1 |
| 2. やや増加した | 36.1 |
| 3. かわらない | 14.3 |
| 4. やや減少した | 9.8 |
| 5. 減少した | 6.8 |
- (2) 教育成果について学生満足度等の指標は、どのように変化したと思われますか。(n=266)
- | | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 7.1 |
| 2. やや増加した | 51.5 |
| 3. かわらない | 34.2 |
| 4. やや減少した | 5.6 |
| 5. 減少した | 1.5 |

(3) 講義・演習の準備時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 13.2 |
| 2. やや増加した | 39.8 |
| 3. かわらない | 30.1 |
| 4. やや減少した | 12.0 |
| 5. 減少した | 4.9 |

(4) 講義・演習以外に学生に接する時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 5.3 |
| 2. やや増加した | 27.1 |
| 3. かわらない | 30.5 |
| 4. やや減少した | 23.3 |
| 5. 減少した | 13.9 |

問6 研究

(1) 研究に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 1.5 |
| 2. やや増えた | 4.9 |
| 3. かわらない | 14.7 |
| 4. やや減った | 54.9 |
| 5. 減った | 24.1 |

(2) 研究成果について論文・学会発表の件数は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 3.4 |
| 2. やや増えた | 29.3 |
| 3. かわらない | 34.6 |
| 4. やや減った | 24.8 |
| 5. 減った | 7.9 |

(3) 研究成果について論文・学会発表の質・内容は、どのように変化したと思われますか。
(n=265)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 向上した | 1.5 |
| 2. やや向上した | 20.4 |
| 3. かわらない | 53.6 |
| 4. やや低下した | 20.8 |
| 5. 低下した | 3.8 |

(4) 外部資金の獲得に割く時間・労力が、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|-----------|------|
| 1. 増加した | 44.0 |
| 2. やや増加した | 45.9 |
| 3. かわらない | 6.8 |
| 4. やや減少した | 2.3 |
| 5. 減少した | 1.1 |

問7 社会貢献

(1) 社会貢献に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

- | | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 30.5 |
| 2. やや増えた | 51.9 |
| 3. かわらない | 15.8 |
| 4. やや減った | 0.8 |
| 5. 減った | 1.1 |

(2) 社会貢献の質は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

| | |
|-----------|------|
| 1. 高まった | 15.8 |
| 2. やや高まった | 56.8 |
| 3. かわらない | 23.3 |
| 4. やや低下した | 3.0 |
| 5. 低下した | 1.1 |

(3) 社会貢献の範囲・種類は、どのように変化したと思われますか。(n=265)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 31.7 |
| 2. やや増えた | 57.4 |
| 3. かわらない | 10.2 |
| 4. やや減った | 0.0 |
| 5. 減った | 0.8 |

問8 学内・学部内事務

(1) 学内及び学部の管理運営に割く時間・労力は、どのように変化したと思われますか。
(n=266)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 65.8 |
| 2. やや増えた | 30.1 |
| 3. かわらない | 3.0 |
| 4. やや減った | 0.8 |
| 5. 減った | 0.4 |

(2) 特に増加した事務・業務を一つ上げてください。

()

4 環境（学部長としての日常生活を念頭にお答え下さい。）

問9 生活時間

(1) 労働時間全体（教育・研究・社会貢献・学内活動）は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 74.1 |
| 2. やや増えた | 19.5 |
| 3. かわらない | 5.3 |
| 4. やや減った | 0.8 |
| 5. 減った | 0.4 |

(2) 自由な時間は、どのように変化したと思われますか。(n=266)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 0.0 |
| 2. やや増えた | 0.8 |
| 3. かわらない | 3.8 |
| 4. やや減った | 18.4 |
| 5. 減った | 77.1 |

(3) もし可能なら**標準的な平日の過ごし方**（起床から就寝まで）を、教育、研究、学内事務、社会貢献（医学部の場合には診療活動を含みます）、食事、休憩・運動、家事（家族と過ごす時間を含みます）、通勤、その他に区分してお示しください。

標準的な平日の生活時間

| | (例示) | (実態) |
|----|------------|---------------------|
| 0 | } | |
| 1 | | |
| 2 | | 睡眠 |
| 3 | } | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | 家事 | |
| 7 | 食事 | |
| 8 | 通勤 | |
| 9 | } | |
| 10 | | 学内事務 |
| 11 | | (委員会出席、資料作成、打合せ) |
| 12 | } | |
| 13 | | 食事(30分)/教育(準備・学生面談) |
| 14 | | 教育(講義・学生指導) |
| 15 | } | |
| 16 | | 研究(実験・論文執筆等) |
| 17 | | |
| 18 | } | |
| 19 | | 社会貢献(地域向け講演会) |
| 20 | 通勤 | |
| 21 | 食事・家事 | |
| 22 | 学内事務(持ち帰り) | |
| 23 | } | |
| 24 | | 研究 |

問10 職場環境

(1) 職場の雰囲気は、どのように変化したと思われますか。(n=262)

| | |
|------------|------|
| 1. 良くなった | 3.1 |
| 2. やや良くなった | 7.6 |
| 3. かわらない | 48.5 |
| 4. やや悪くなった | 32.8 |
| 5. 悪くなった | 8.0 |

(2) 教職員の心身トラブルは、どのように変化したと思われますか。(n=264)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 21.6 |
| 2. やや増えた | 61.0 |
| 3. かわらない | 16.7 |
| 4. やや減った | 0.8 |
| 5. 減った | 0.0 |

(3) 教員の離転職（定年退職を除く）は、どのように変化したと思われますか。(n=263)

| | |
|----------|------|
| 1. 増えた | 5.7 |
| 2. やや増えた | 31.6 |
| 3. かわらない | 61.2 |
| 4. やや減った | 1.5 |
| 5. 減った | 0.0 |

問11 同じブロックにある有力私立大学（地域を代表する私立大学）と比較して

(1) 自大学の教育環境をどのようにお考えですか。(n=256)

| | |
|---------|------|
| 1. 良い | 35.5 |
| 2. やや良い | 32.0 |
| 3. 同じ程度 | 11.7 |
| 4. やや悪い | 14.5 |
| 5. 悪い | 6.3 |

(2) 自大学の研究環境をどのようにお考えですか。(n=255)

| | |
|---------|------|
| 1. 良い | 35.3 |
| 2. やや良い | 38.0 |
| 3. 同じ程度 | 11.8 |
| 4. やや悪い | 10.2 |
| 5. 悪い | 4.7 |

(3) 自大学の雇用環境をどのようにお考えですか。(n=253)

| | |
|---------|------|
| 1. 良い | 14.6 |
| 2. やや良い | 28.5 |
| 3. 同じ程度 | 29.2 |
| 4. やや悪い | 19.8 |
| 5. 悪い | 7.9 |

(4) 教育条件からみて自大学の授業料をどのようにお考えですか。(n=257)

| | |
|---------|------|
| 1. 高い | 5.1 |
| 2. やや高い | 10.9 |
| 3. 同じ程度 | 17.9 |
| 4. やや安い | 47.1 |
| 5. 安い | 19.1 |

(5) 国立大学における学部別授業料の設定について、どのようにお考えですか。(n=256)

- | | |
|--------------|------|
| 1. 望ましい | 13.3 |
| 2. いくぶん望ましい | 18.0 |
| 3. どちらともいえない | 24.6 |
| 4. やや望ましくない | 14.8 |
| 5. 望ましくない | 29.3 |

5 法人化の評価

問12

(1) 学部事務の効率化について、どのようにお考えですか。(n=261)

- | | |
|--------------|------|
| 1. プラス | 2.7 |
| 2. ややプラス | 21.5 |
| 3. どちらともいえない | 28.7 |
| 4. ややマイナス | 29.9 |
| 5. マイナス | 17.2 |

(2) 学部の教育活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

- | | |
|--------------|------|
| 1. プラス | 2.7 |
| 2. ややプラス | 36.4 |
| 3. どちらともいえない | 31.4 |
| 4. ややマイナス | 20.1 |
| 5. マイナス | 9.5 |

(3) 学部の研究活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

- | | |
|--------------|------|
| 1. プラス | 4.2 |
| 2. ややプラス | 18.6 |
| 3. どちらともいえない | 26.1 |
| 4. ややマイナス | 30.3 |
| 5. マイナス | 20.8 |

(4) 学部の社会貢献活動の活性化について、どのようにお考えですか。(n=264)

- | | |
|--------------|------|
| 1. プラス | 11.4 |
| 2. ややプラス | 54.2 |
| 3. どちらともいえない | 26.9 |
| 4. ややマイナス | 5.7 |
| 5. マイナス | 1.9 |

(5) 国立大学法人の学長に就任要請されたら、どのように対応されますか。(n=262)

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 受諾する | 5.7 |
| 2. 個人的にはやりたくないがやむを得ず受諾する | 9.2 |
| 3. わからない | 28.2 |
| 4. 断る方向で動く | 16.4 |
| 5. 断る | 40.5 |

6 属性（該当する番号に○印をして下さい）

問13

(1) 学部・研究科の種類は、以下のどれですか。(n=261)

| | |
|----------|------|
| 1. 理工系 | 30.3 |
| 2. 農学系 | 10.3 |
| 3. 文科系 | 28.4 |
| 4. 医歯薬学系 | 19.9 |
| 5. その他 | 11.1 |

(2) 年齢は、以下のどの区分に該当しますか。(n=261)

| | |
|-------------|------|
| 1. 40歳以下 | 0.0 |
| 2. 40歳から44歳 | 0.0 |
| 3. 45歳から49歳 | 0.8 |
| 4. 50歳から54歳 | 9.2 |
| 5. 55歳から59歳 | 41.0 |
| 6. 60歳以上 | 49.0 |

(3) 学部長に就任されてから、現在までの経過年数は、以下のどれに該当しますか。(n=262)

| | |
|--------------------|------|
| 1. 6ヶ月未満 | 3.8 |
| 2. 6ヶ月から1年未満 | 34.0 |
| 3. 1年から2年未満 | 29.8 |
| 4. 2年以上 | 19.8 |
| 5. 現在を含め2回以上経験している | 12.6 |

(4) 性別は、次のどれですか。(n=262)

| | |
|-------|------|
| 1. 男性 | 96.9 |
| 2. 女性 | 3.1 |

(5) 経歴（該当する番号**全てに**○印）は、以下のどれに該当しますか。(n=266)

| | 該当 | 該当なし |
|---------------------------|------|------|
| 1. 私立大学の勤務経験あり | 14.3 | 85.7 |
| 2. 民間企業・官庁などの勤務経験あり | 13.5 | 86.5 |
| 3. 国公立及び企業・団体等の研究所の勤務経験あり | 29.7 | 70.3 |

(6) 御所属の大学特性(別表をご参照下さい)は、以下のどれに該当しますか。(n=262)

| | |
|----------------|------|
| 1. 旧帝大 | 19.5 |
| 2. 教育大 | 3.1 |
| 3. 理工大 | 3.8 |
| 4. 文科大 | 2.3 |
| 5. 医科大 | 0.8 |
| 6. 医学部を有する総合大 | 55.7 |
| 7. 医学部を有しない総合大 | 11.5 |
| 8. 大学院大学 | 3.4 |

別表

| | |
|------|--|
| 旧帝大 | 北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学 |
| 教育大 | 北海道教育大学、宮城教育大学、東京学芸大学、上越教育大学、愛知教育大学 京都教育大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、鳴門教育大学 福岡教育大学、鹿屋体育大学 |
| 理工大 | 室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、筑波技術大学、東京農工大学 東京工業大学、東京海洋大学、電気通信大学、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、 豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、九州工業大学 |
| 文科大 | 小樽商科大学、東京外国語大学、東京芸術大学、一橋大学、滋賀大学、 |
| 医科大 | 旭川医科大学、東京医科歯科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学 |
| 医総大 | 弘前大学、秋田大学、山形大学、筑波大学、群馬大学、千葉大学、新潟大学、 富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、 神戸大学、鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、 香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学 宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学 |
| 医無総大 | 岩手大学、福島大学、茨城大学、宇都宮大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、 横浜国立大学、静岡大学、奈良女子大学、和歌山大学 |
| 大学院大 | 政策研究大学院大学、総合研究大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、 奈良先端科学技術大学院大学 |

質問は以上です。調査にご協力いただき、ありがとうございました。